

○掲載した体験談（43名44本：役職は震災発生当時のもの）

1	原発・複合災害	生活環境部危機管理監	宮本 満
2	知事への未明の報告	生活環境部参事兼危機管理室長	山田広次
3	大震災・原発事故の体験から	環境放射線監視センター放射能部長	橋本和子
4	原発事故対応で得た経験は今、私の大きな力となる	原子力安全対策課	浦井仁美
5	環境放射線モニタリング実施機関における前線	環境放射線監視センター	桑原雄宇
6	福島第一原子力発電所事故後のモニタリング	環境放射線監視センター	小松崎正貴
7	原子力緊急事態の発生	原子力安全対策課原子力安全調整監	加島洋一
8	3月23日からの1週間～水道水の飲用自粛～	生活衛生課副参事	吉添裕明
9	水道水の放射性物質対応	企業局施設課	藤田貴之
10	非結球葉菜類の放射性物質汚染への対応	農政企画課長	加藤弘道
11	牛の全頭検査	生活衛生課	海老原恵司
12	畜産関係者、生産者の団結力	茨城県畜産農業協同組合連合会	中川 徹
13	福島原発事故の生乳に対する影響	茨城県酪農業協同組合連合会常務理事	市村 章
14	原木しいたけ生産者の取組	茨城県原木しいたけ組合会長	飯泉孝司
15	下水汚泥からの放射性物質の検出	那珂久慈流域下水道事務所施設管理課長	飯田俊隆
16	私立学校の放射線量測定	総務課私学振興室	小川健太郎
17	風評に非ず、完全なる実害	茨城沿海地区漁業協同組合連合会会長	小野 勲
18	自然災害、人的災害の経緯	大津港水産加工業協同組合代表理事組合長	杉本佳幸
19	お客様が戻ってきてくれる日まで	としまや月浜の湯取締役支配人	渡辺功記
20	工業製品等の放射線量測定	産業技術課	大城靖彦
21	「震災から学ぶ」学習体験プログラムの考案	財団法人グリーンふるさと振興機構	宮田孝之
22	県民への情報伝達について	原子力安全対策課長	大塚 誠
23	福島原発事故に係る初期対応	原子力安全対策課課長補佐	江幡一弘
24	マスク対応、県民相談、情報発信	広報広聴課課長補佐	大川遵一
25	原子力災害を振り返って	守谷市生活経済部生活環境課	高橋 淳
26	東日本大震災に遭遇して	教育庁保健体育課	鈴木拓夫
27	原発事故と損害賠償の立ち上げ	J A茨城県中央会専務	秋山 豊
28	出荷停止・風評被害の損害賠償請求	J A茨城県中央会	林 薫
29	茨城県農畜産物の信頼回復、賠償金の早期獲得	J A茨城県中央会	矢口達弥
30	福島県への安定ヨウ素剤の提供	薬務課長	氣田利正
31	福島県からの避難者の受入れ	北茨城市消防本部消防長	澤田 清
32	避難所でのスクリーニング検査	北茨城市立総合病院事務部総務課	鈴木伸司
33	3.11 福島原発事故後の初期対応	保健予防課健康危機管理対策室	園部広由喜
34	長い長い一日	水戸保健所	鈴木敏弘
35	旧県立友部病院隣組救援日記	県立こころの医療センター病院長	土井永史
36	未曾有の災害時におけるマンパワーの結集	障害福祉課長	鈴木克典
37	原子力事故への対応を経験して	高萩警察署	堀内 賢
38	避難者の受入れ	原子力安全対策課総括補佐	黒澤一男
39	福島県から避難されてきた方々への対応	生活環境部次長	佐藤政雄
40	つくば市での原発事故避難者受入れ	つくば保健所長	石田久美子
41	福島県から茨城県への職員派遣	福島県いわき地方振興局県税部副部長	緑川博人
42	福島県警に出向して	日立警察署	鈴木康雄
43	原子力災害警備	県警察本部警備課	柳橋 武
44	東海第二発電所における津波対策	生活環境部参事兼危機管理室長	山田広次

問い合わせ先：原子力安全対策課 029-301-2916